



■コミュニティだより

VOL. 81 (年4回発行)

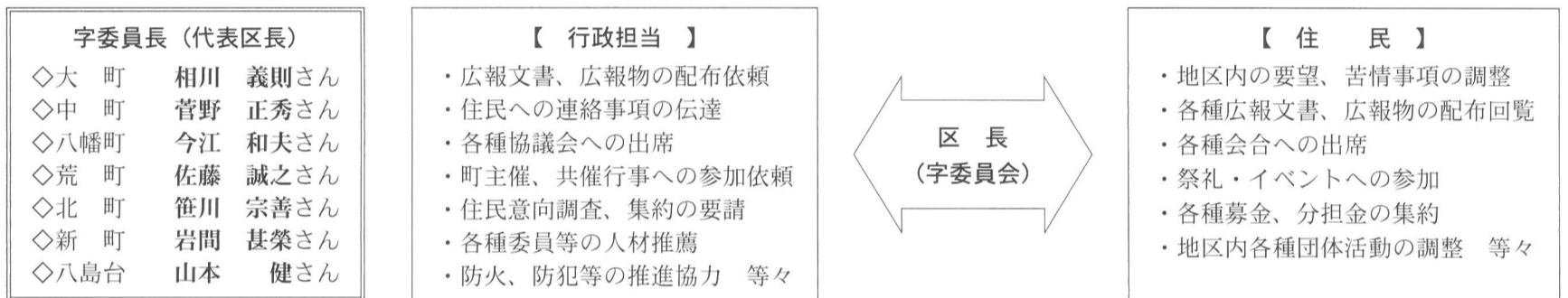
- 発行日 平成28年9月30日
- 発行 三春まちづくり協会
- 編集 三春まちづくり協会広報部会
三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒寮)
TEL/FAX (62) 3988

特別企画

『字委員長 (代表区長) さん』に聴く!!

三春まちづくり協会は、各地区の区長・民生委員・消防団・婦人会・老人会PTA等の代表者の方々と、各地区から推薦された委員で構成されています。特に、代表区長は字委員長としてまちづくり協会の役職を任じています。今号では、より良い行政サービスの推進のため行政担当と地域の皆さんとの調整機能を果たされている区長としての職務を通した、日頃の苦労話や、これからの協働のまちづくりに向けたご意見・課題等をお聴きし、特集しました。【紙面の関係で、お聴きした内容を取りまとめ要約して編集しています。】

字委員長 (代表区長) さんの主なお仕事は? — 字委員長 (代表区長) さんの主な職務内容をお聴きました —



字委員長 (代表区長) さんにお聴きました — アンケート調査から字委員長さん方の実情をまとめました —

質問：1 代表区長を担当されての感想をお聞かせください。

- ★地域社会での経験を活かし地元発展に貢献したいと思い引き受けたが職責の重さを感じている。
- ★地区住民の方々と顔見知りとなり、地区に生活している実感を得た。
- ★各種イベントの企画について、うまくいって当たり前、責任を強く感じる。
- ★多種多様なイベントおよび事業等が多く挨拶が苦労である。
- ★各種委員や団体役員等を字からの人選を依頼された際の選出が困難。
- ★草刈りから町道、県道の補修迄、要望が多岐にわたっている。
- ★地区の皆さんとのコミュニケーションの場が多くなった。
- ★地区住民が協力的。
- ★以前と比べて地域住民との対話が多くなり関係が密になった。

質問：2 あなたの地域には、どのような課題がありますか？

- ★県道三春—須賀川線の拡幅工事が遅れている点と、国道288号線日本化学側の歩道の拡幅問題。
- ★今後の高齢者社会に向けた福祉の問題。
- ★高齢化に伴い地区役員 (各種団体役員等) の選出が困難。
- ★空き家・空き地が毎年増えていることによる住環境の悪化。
- ★山車の倉庫や新しい消防屯所の建設。
- ★公民館駐車場 (町所有) の利活用。
- ★商店街の活性化。
- ★従来の地区と新興住宅地区とのかかわりが薄い。
- ★少子高齢化の進む中での字の運営について。

質問：3 課題解消の方策についてどのような提言がありますか？

- ★県側の予算次第。
- ★地域の皆さんとのコミュニケーションの場を多くし、理解と協力を得る。
- ★行政がこれからの各地区役職について検討する必要があるのでは。
- ★空き家、空き地の所有者の明確化。(管理についての働きかけ)
- ★字の意見を行政に生かすために字毎の懇談会の実施。
- ★商店街活性化のため消費者動向調査を実施。
- ★各種団体の意見交換、交流の場を設ける。
- ★高齢者の積極的な活用。(責任のある仕事)

質問：4 地域行政のあり方で、行政担当へ要望がありますか？

- ★地区住民から要望を受けても、行政から出来ないと言われて、区長として何もできない。無能さを感じる。
- ★臨時職員の採用等で各地区のバランスを取る必要がある。何でも地区任せ区長任せでは困る。
- ★行政の各種情報を適時区長に流してほしい。
- ★「例年通り」ではなく、町政の課題を解決するため創造的で意欲的に町民目線で気を配ってほしい。

質問：5 住民自治の観点から、住民の方々へ要望がありますか？

- ★住民の参加者が限定的であり、各種行事等への積極的な参加を希望する。(顔を出すだけの参加でよい)
- ★字役員がなんでもやってくれるものだと望み過ぎないように。
- ★地域コミュニティを大切にしてほしい。特に環境面におけるモラルについて。
- ★協調性が欲しい。相手の立場を尊重して。
- ★町内会各種行事への参加率が悪くなっている。仕事で都合がつかない時以外は参加してほしい。
- ★組単位での活動を大切にしてほしい。

質問：6 協働のまちづくりについて、何かご意見がありますか？

- ★環境創造センター、ガイナックス等と観光面での通年的な条件が出来たので町中への人を呼び込む工夫を！町中の観光資源の再開発。
- ★地域社会がその独自性をもって発展の道を歩むには、行政・経済・文化の三位一体が不可欠である。
- ★高齢化社会に向っての、除雪や除草等の問題にどう取り組むか。
- ★まちづくり協会、区長会、そして行政が皆で創意工夫し英知を結集し、協力活動することで推進力になる。

～まとめ～

今回の企画で、字委員長 (代表区長) の方々から寄せられたアンケートから、共通的な事項をまとめてみました。

- 少子高齢化により、人材確保や字内構成に多くの課題がある。
- 課題の内容によって、行政からの適切な支援が必要である。
- 地域実情について住民が情報を共有し、理解と協力による参加型のまちづくりが必要。
- 字委員長 (代表区長) の職務は、行政と住民との間にあって行政サービスの適正な推進の潤滑油的な存在であり、重要な立場である。大変な仕事であるが、達成感を持てる仕事でもある。

《初心に聴く》

シリーズ ⑨

前号に引き続き、新任委員の方々から寄せられた『まちづくり協会活動に携わる初心』を掲載します。

広報部会

吉田 浩之さん

今年度、三春まちづくり協会広報部会委員に委嘱されました。昭和六十年に創刊され、今年で三十一年目を迎える「三春わが街」の発刊に携われること大変光栄に思っております。これを機に今まで発刊された紙面を読み返してみました。読み応えがあり、興味深い記事がたくさんありました。何より、町づくりに対する諸先輩方の思いが熱として伝わってきました。まずは、自分が広報部活動を楽しみ、この熱を繋いでいきたいと思えます。よろしくお願致します。

広報部会

渡邊 和江さん

ひよんな事から、理系の私が広報部会に配属になりました。文章など書いた事がないのですごく心配です。三春で生まれ、途中途切れましたが町の中心部に住んでいます。三春の町の中の事など、あまり興味も無く知らない事が、たくさんある物だと思えました。行事や文化、町政などもっと関心を持ってもらえるような「コミュニティだより」を作

っていただければいいなと思っております。すばらしい三春の発見ができるような活動を、してみたいなと思えます。

生涯学習部会

山口登美男さん

三春小学校PTA会長の山口登美男と申します。

今年度、三春まちづくり協会の生涯学習部会委員となりましたが役場職員でもある私は、今を去ること二十数年前、他地区のまちづくり協会の地区担当職員を命ぜられ、地区の方々と一緒に、時には苦勞しながら、時には楽しみながらまちづくり活動を行ったことを懐かしく思い出しました。今度は立場が変わり協会の一員として、再びまちづくり活動に参加させていただき地域の方々と活動できることをうれしく思っております。

部会だより

福祉部会

佐藤 久夫さん

今回、福祉部会活動としてカローリング教室に参加

しました。カローリングとは一チーム三人で行い、カローリングと似た室内で行うスポーツで、健康づくりの推進とロコモ予防を目的にしています。「ロコモ」はロコモーションの略で「運動機能」の意。カローリングで相手チームとの交流も出来楽しい時間を過ごしました。カローリングは私に合ったスポーツだと思いました。機会があればまた参加してみたいです。



福祉部会

佐久間藤男さん

福祉部会二十八年度の施設ホーム視察研修は、七月二十八日三春駅通りに、今年五月二十三日に開設した木造平屋建て「は」とらいふ三春」へ行って来ました。施設へ着くと、管理者の菅野さんに出迎えてもらい、早速施設の中を案内していただきました。まず五十畳程のフロアリングのホールが在り、食堂・居間が兼用となっていて、廊下を挟んで居室が並んでいました。

居室が並んでいました。

部屋の中は、布団や私物を置く三畳位の、フロアリングの部屋でした。次に風呂場へ進み浴槽が二つあり、浴槽が移動でき、いろいろな体勢で入浴ができるそうです。各部所を見学してから、テーブルに着き説明を受けました。

この施設は「JA福島さくら」が経営していて、三春町在住であれば利用することが出来ます。コースは二つあり、ひとつは小規模多機能型住宅介護で、これは登録・定額制で、本人の様態や希望に応じて通い、宿泊、訪問のサービスを組み合わせて必要な支援を受けられるシステムです。登録をしておけば、家族が病気になる時とか、色々な困った時に対応してくれるので、私はこれは使えるところと思いました。もうひとつは、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）で、少人数（九人まで）が専門スタッフの支援を受けながら、共同で生活をする施設です。



城下町・三春中心街散策路の紹介 ④

紫雲寺散策路

地域部会 鈴木 武

紫雲寺散策路は磐州通りと北町通りそして旧三春中学校前の北向町からの計4ヶ所から入り口があって神社仏閣と自然が楽しめる散策路です。歴史民俗資料館で発行した「れきみんブックレット」を町の書店か同資料館で購入して、まず北町通りの入口になる北野神社から散策してみましょう。この神社は秋田氏が藩主として入城した天保3(1664)年に町は六町制が定められて六町鎮守が置かれました。北野鎮守は城内の北野天満宮が現在地に移されました。この「撫で牛」は大宰府天満宮のものよりも立派だといわれています。近江商人が美濃産の石



撫で牛

で刻んだものを奉納したもので、天神信仰とともに三春の交易圏を物語る資料となっています。北野神社から北へ進むと秋田氏時代に開かれた切通し(旧三春中学校前)に出ます。次は、大町側で磐州通りは2ヶ所ありますが紫雲寺から散策してみます。紫雲寺は、浄土宗のお寺で天正15(1587)年の開山と伝えられています。本尊は木造阿彌陀如来立像で、木造観音菩薩立像・木造勢至菩薩立像の脇侍があり、いずれも江戸時代初期の作とされています。境内には、自由民権運動家として有名な、河野広中の遺髪を埋めた「磐州河野広中先生座髪家」があります。河野広中は、大正

12(1923)年12月29日に死去しました。墓は、東京護国寺に建てられ、地元三春には、河野家の菩提寺である紫雲寺に座髪家が建てられました。更にこの寺には、「腹切り梅」やこれに付随する「猫騒動」などの伝説があります。(詳しくは歴史民俗資料館で調べてください) 紫雲寺散策路は境内左から大町鎮守王子神社の上へ出て荒町を俯瞰するように設けられている。王子神社は旧王子大権現で境内から松下氏時代に遷宮されたといわれています。祭神は豊城入彦命。境内末社に火雷神社があります。散策路は北向町へ下る道と北野神社へ下っていく道とに分かれます。



磐州河野広中先生座髪家

編集後記

広報一月に、申年生まれの小学校五年生七名の子供のインタビューが載った。子供たちの目線で見ると、三春のいいところ、地域の人達が優れている、あいつを必ず返してあげる、三春駒の伝統的な遊び、駅でも販売される自慢だ、周りが森が沢山あり、気持ちが良い、季節ごとに色んな行事が沢山ある、見に行っています等。次に、今の三春町に頑張っていること、滝桜や町中に観光客を増やしてほしい、滝桜が何年後も生き残り、花を咲かすため手入れ、地元のお菓子を作っている、高年齢化が進み若い人が農業に目を向けてほしい、学校に遊具を増やしてほしい、遊ぶ環境を増やしてほしい、外国語のイベントを開く等、子供達は滝桜を中心として夢を抱いていることが分かる。この機会に、十七、二十歳の若い人達に、わが街の将来像、舞鶴クラブ(東京近郊在住者)の会員の皆さんの協力を得て、外から見たわが街は、どの様に映っているのか、意見を収集して現状分析をしたい。そうすれば、これから方向性が見えてくるかもしれない。先人が築いてきた、歴史・文化を次世代に伝承しながら、今、花ひらく小さな城下町、守りの三春から攻めへの三春の実現へ、知恵を絞ります。 (橋本正幸)

コミュニティだより 「三春わが街」第八十一号
発行日 平成二十八年九月三十日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広 報 部 会
三春町大字真字出雲二〇一
(六一) 三九八八